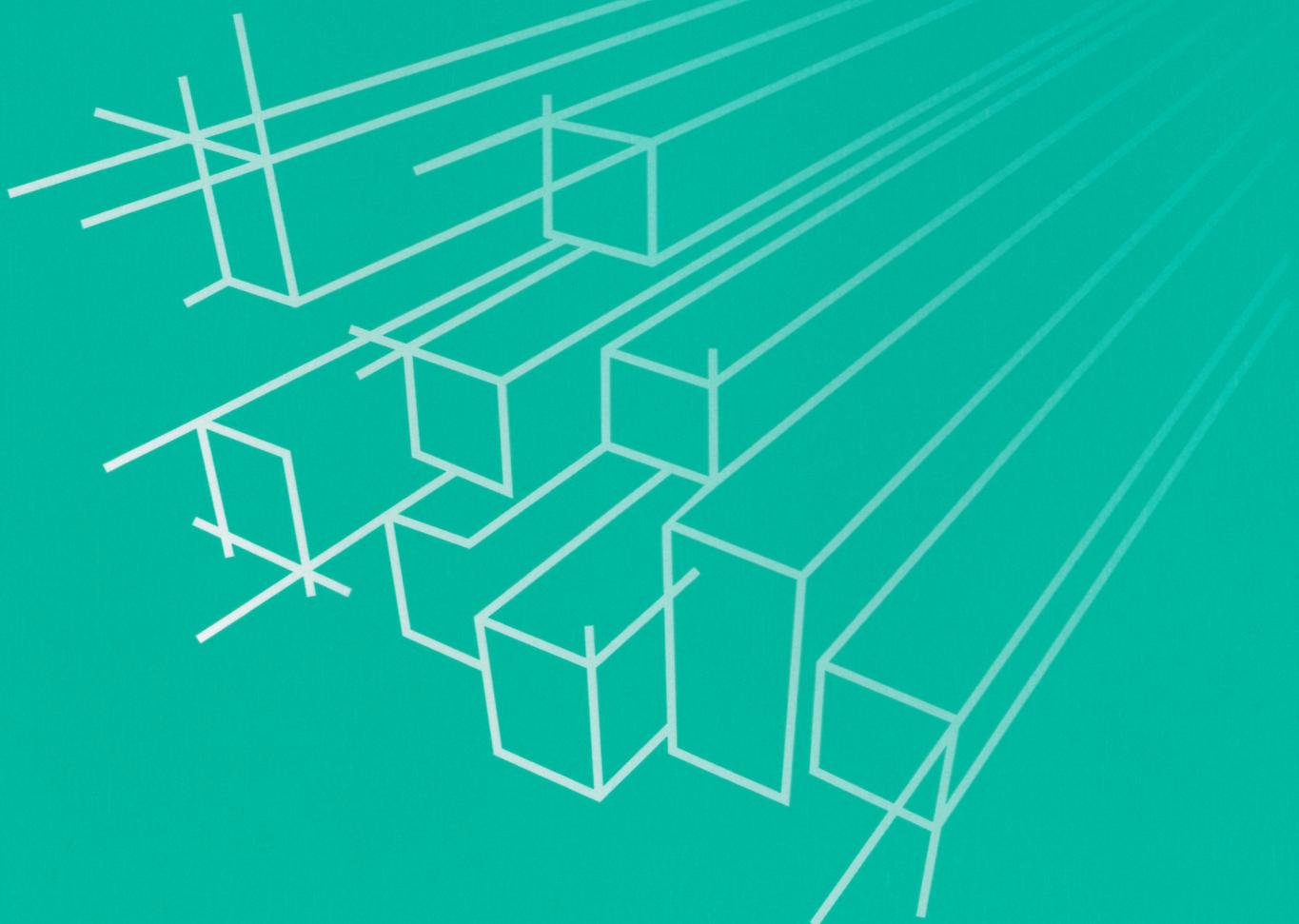


外ケーブル方式による コンクリート橋の補強実例図集

Prestressed Concrete

[第2版]



平成19年4月



社団法人 プレストレスト・コンクリート建設業協会

**外ケーブル方式による
コンクリート橋の補強実例図集
(第2版)**

まえがき

社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会は、平成10年6月に「外ケーブル方式によるコンクリート橋の補強マニュアル（案）」を刊行した後、外ケーブル方式による代表的な既設橋梁の補強事例を図集として取りまとめ、平成13年6月に「外ケーブル方式によるコンクリート橋の補強実例図集」として発刊しました。これら資料は、これまで既設コンクリート橋における耐荷性能の回復・向上など外ケーブル補強を計画する際の有用な参考資料として、多くの実務者の皆様に活用されてきました。

この度、「外ケーブル方式によるコンクリート橋の補強マニュアル（案）」が改訂版として発刊されることに伴い、平成11年度～14年度にかけて施工された補強実績の中から、さらに特徴のある補強実例10工法を選出し、実例図集の追補として「外ケーブル方式によるコンクリート橋の補強実例図集 第2版」を発刊することにしました。本資料は、実例図集のみならず、これまでの実績調査結果（第1回～第3回：平成3年度～14年度）についても参考として収録し、外ケーブル方式による既設橋梁補強の実態を紹介しています。

わが国にPC技術が導入されてからすでに半世紀が経ち、今後は橋齢50年以上の橋梁が年々増大の一途にあります。これからは、供用期間の終えた橋梁を単に撤去・更新するだけではなく、供用期間中、適切なメンテナンスを、適切な時期に施しながらより長く使い続けて行く時代です。本資料で紹介する外ケーブル方式による補強実例は、その第一歩として、メンテナンス時代の道標となることを期待してやみません。

当協会では、今後とも橋梁補強の実績を積み重ね、具体的実例として蓄積・整理し、本資料を皆様方のお役に立つ技術資料として増補・整備していく所存です。実務者の皆様方には、今回の第2版発刊にあたり、さらなる内容充実のため忌憚のないご意見をお願いする次第です。

本資料が、初版の実例図集および「外ケーブル方式によるコンクリート橋の補強マニュアル（案）改訂版」とともに、既設コンクリート橋におけるこれからの外ケーブル補強計画に大いにご活用いただければ幸甚に存じます。

平成19年4月

社團
法人 プレストレスト・コンクリート建設業協会
保全補修委員会 メンテナンス部会

部会長	渡辺 寛	株式会社ピーエス三菱
副部会長	濱田 譲	ドーピー建設工業株式会社
	江良和徳	極東工業株式会社
	大谷悟司	オリエンタル建設株式会社
	梶原勉	株式会社富士ピー・エス
*雜賀浩規		ピーシー橋梁株式会社
桜谷忠史		日本高圧コンクリート株式会社
高野茂晴		株式会社安部日鋼工業
高橋功		川田建設株式会社
橋修		昭和コンクリート工業株式会社
濱岡弘二		株式会社日本ピーエス
藤原保久		三井住友建設株式会社
渡辺浩志		ピーシー橋梁株式会社

*は旧委員

目 次

1. 概 要	1
2. 外ケーブル補強の概要および図面	3
2.1 ポストテンション方式単純 T 枠橋	3
2.2 ポストテンション方式連続箱枠橋	6
2.3 3 径間連続 RC ゲルバー T 枠橋	9
2.4 ポストテンション方式単純 T 枠橋	12
2.5 ポストテンション方式単純 T 枠橋	16
2.6 ポストテンション方式単純合成枠	20
2.7 ポストテンション方式単純 T 枠橋	24
2.8 ポストテンション方式単純 T 枠橋	27
2.9 ポストテンション方式有鉸ラーメン箱枠橋	30
2.10 ポストテンション方式単純 T 枠橋	35

参考資料

①第 3 回調査結果 (平成11年度～平成14年度)	41
②第 1 回～第 3 回調査結果 (平成13年度～平成14年度)	83